

～ 先輩からの声 ～



市川 奈々（幼稚園教諭）

2020年入庁

榛原幼稚園

志望動機

宇陀市で育つことのぬくもりを子どもたちに伝えたいと思いました。私は宇陀市で生まれ育ちました。その中で幼小中時代を振り返ると、常に地域の方々に見守られ、遊びや生活の経験をさせていただいていました。このような宇陀市の温かい地域性を次は私が先生となって子どもたちに伝えたいと思い、宇陀市を志望しました。

担当業務

私は現在、榛原幼稚園で3歳児の担任をしています。幼稚園の3歳児は初めて親と離れ、集団生活を経験します。そのため、子ども一人ひとりの不安を受け止め、信頼関係を築けるよう関わっています。また、その信頼関係を基盤として、友達と関わり、人とのかわり方や一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように援助できるよう、努めています。また、基本的な生活習慣を身に付けられるよう、やり方を知らせたり、できたときには一緒に喜び、自信につなげられるようにしていきたいです。

やりがいについて

私にとってこの仕事の一番のやりがいは子どもの笑顔です。日々の保育では、こんな風に成長してほしいというねらいを踏まえて、遊びを考えたり、関わりを工夫したりします。しかし、まだまだ経験も浅く、頭を抱えることもあります。ですが、子どもの「先生、楽しい！」という笑顔を見ると、『考えてみてよかった』と次の原動力になります。子どもの笑顔を絶やすことのない先生になれるよう、さらに頑張っていきたいです。

市職員のイメージは

幼稚園では登園している子ども、家庭はもちろんのこと、市内の地域の方々とのつながりを大切にしていたと思います。保護者の方々の声を聞き、園運営に反映させたり、地域の方々にも保育に参加してもらったりするなど、市民目線の保育を行う点に公平性を強く感じます。

受験者に向けて

アドバイスではありませんが、私は受験期、常に気が付いたことや感じたこと、いいなと思ったことはメモをするようにしていました。例えば、「今日の空は綺麗だな」「友達のこういう考えが素敵だな」等、どんな些細なことでも感じたことはメモをするようにしていました。実際にメモをしていたことで、面接で伝えたい話の引き出しが増えていったと思います。また、受験が終わり働いている今でも、そのメモを見返し、役に立つことが多くあります。

切羽詰まりすぎず、息を抜く時間を大切にしてください。一緒に働ける日が来ることを心待ちにしています。就職活動を応援しています。